石狩浜海浜植物保護センター

観察園便り 2017

発行：石狩浜海浜植物保護センター

（事業受託団体 NPO法人いしかり海辺ファンクラブ）

●開館期間 4/29～11/3 ●開館時間 9:00～17:00

●毎火曜定休（祝日の場合翌日休）

●〒061-3372 石狩市弁天町48-1 ●TEL：0133-60-6107

●E-mail iufc.office@gmail.com

●HP http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/

石狩浜海浜植物保護センター観察園は、石狩浜に生育する植物を集めた植物園です。遊歩道に沿ってたくさんの種類の植物が植えられており、海浜植物をまとめて間近に親しめます。

コウボウムギの雄株。３方向に葉が広がるのが特徴です。

ハマニンニクが勢いよく葉を成長させています。

砂地で葉を広げるハマニガナ。砂丘の最前線で育ちます。

イソスミレの株はまだ葉がまばら。これからどんどん茂ります。

地面から顔を出したハマエンドウは最初は真っ赤なのです。

つやつやした光沢が初々しいハマボウフウの葉です。

昨年の枯れた茎を残したままハマハタザオの葉が成長しています。

エゾノカワラマツバが葉を伸ばし、まるで小さな森のようです。

地面から鋸（のこぎり）がニョキニョキ生えたようなノコギリソウ。

細くスラリとした葉を伸ばすコウボウシバ。

微細な綿毛に覆われたシロヨモギ。目を引く海浜植物です。

カシワの枝に去年の傘（正式名は殻斗〈かくと〉）が残っていました。

冬期間、紫色の葉で雪に埋もれいたエゾカワラナデシコが緑色に変化。

エゾスカシユリも力強く頭を出しています。

ぽってりとした葉が、まるでバラの花のようなウンランです。

ハマナスは若い葉が、どんどん芽吹いています。

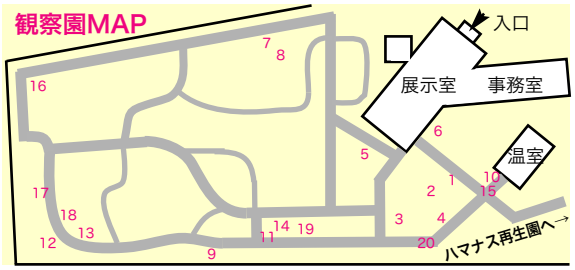
コガネギク（ミヤマアキノキリンソウ）。高山植物とされますが､平地の砂地にも自生。

極小サイズのナミキソウの若葉は目にも鮮やかなグリーン色。

昨年の実が残っている茎の根元からヒメイズイの若芽が！

園内には絶滅危惧種のエゾアカヤマアリの巣があります。

観察園MAP



アクセスマップ

周辺地域マップ

はまなすの丘公園2017
4月の観察記録ダイジェスト

写真提供
石狩浜定期観察の会

※「石狩浜定期観察の会」は石狩浜海浜植物保護センターとの協働により、はまなすの丘公園の自然観察記録を４月から10月までほぼ２週間ごとに行っている市民ボランティアグループです。

●2017.4.19　早春の芽吹き

1
ナガボノシロワレモコウ（バラ科）
４月にしてはかなり草丈が伸びています

2
ヤナギの仲間
やわらかい花芽が出て春を告げます

3
ウンラン（オオバコ科）
バラの花びらのようです

4
ハマハタザオ（アブラナ科）
つぼみあり！やがて白い花をつけます

5
ハマエンドウ（マメ科）
新芽の頃は赤いです

6
イソスミレ（スミレ科）
早くもつぼみをつけました

7
コウボウムギ（カヤツリグサ科）
たくましい花芽が出てきました

8
ハマナス（バラ科）
昨年の実と新芽が見られます

9
チャシバスゲ（カヤツリグサ科）
雄花が開花中です

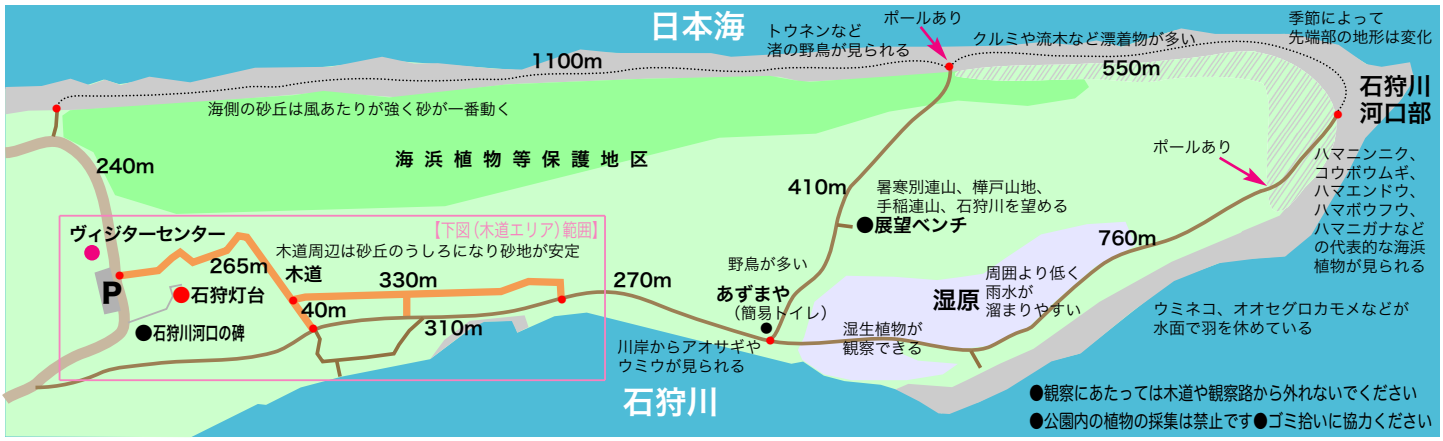
10
ハマボウフウ（セリ科）
すでに大きな葉ですが、さらに大きくなります

11
エゾノカワラマツバ（アカネ科）
松葉のようなかわいい芽が！

12
スナハマガマノホタケの菌核
直径約５mm。晩秋に2~3cmのキノコに

13
スズメノヤリ（イグサ科）
体に毛をまとった槍付きつぼみです

14
ノビタキ（♂）
仲間を呼んでいるみたいです

15
海鳥の乱舞
数えきれないほどのカモメ類です

はまなすの丘公園マップ